

第99回大会から第100回の春大会への移行方法

第100回大会より、下記のように級を改変し、A～C級は春(2014年3月)、D級は夏(2013年8月)の開催となります。

1-1. 第99回大会の結果 (2013年3月)

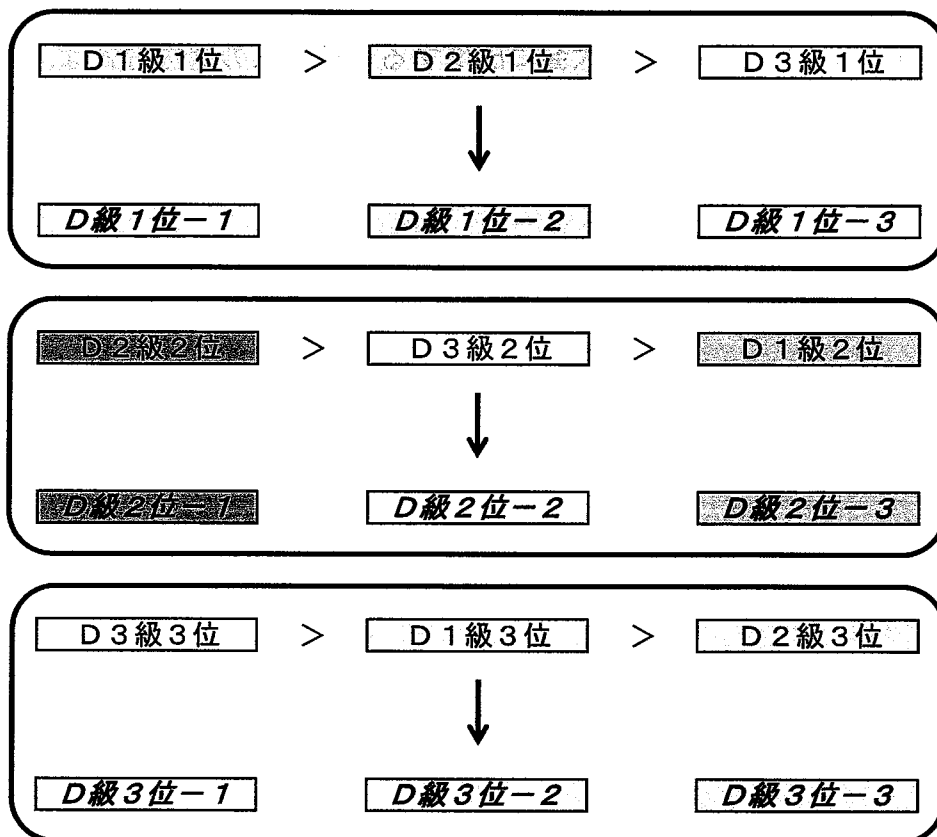
A級	B級	C級	D 1級	D 2級	D 3級	E級
1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位	3位	3位	3位
4位	4位	4位	4位	4位	4位	
5位	5位	5位	5位	5位	5位	
6位	6位	6位	6位	6位	6位	
7位	7位	7位	7位	7位	7位	
8位	8位	8位	8位	8位	8位	

↓
第100回の春大会
C級に昇級。

9チームは降級。
第100回の夏大会には出場可能。

1-2. 第99回大会の結果に基づく、D級チームの成績比較

同順位のチーム同士を比較する。比較方式は現行の順位決定戦と同様に、勝点、勝数、全勝者数、主将成績、・・・の順に比較していく。



以下、同様に5位のチームまで比較する。

1-3. 第100回の春大会組み合わせ

A級	
A級1位	A級2位
A級4位	A級3位
A級5位	A級6位
B級2位	B級1位

B1級	
A級7位	B級4位
C級2位	B級5位
B級7位	C級4位
D級1位-2	C級5位

B2級	
A級8位	B級3位
C級1位	B級6位
B級8位	C級3位
D級1位-1	C級6位

C1級	
C級7位	D級2位-3
D級4位-3	D級3位-1
D級5位-1	E級3位
※新D級	※新D級

C2級	
C級8位	D級2位-2
D級4位-2	D級3位-2
D級5位-2	E級2位
※新D級	※新D級

C3級	
D級1位-3	D級2位-1
D級4位-1	D級3位-3
D級5位-3	E級1位
※新D級	※新D級

(1) 同団体で複数チームを出す場合は、A級は1チーム、B級、C級は2チームまで出すことができる。8チームで1つのリーグを組むが、同じリーグに同一団体のチームが入らないよう、調整を行う。

(2) 夏大会に出場したチームの登録選手は、原則として同年度の春大会に出場できない。ただし、夏大会昇級チームの登録選手は、同年度の春大会C級に限り出場できる。

※新D級（第100回の夏大会）から春大会に出場する6チームの選抜方式は、現在検討しています。

1-4. 第100回の夏大会での、新D級の開催方式（試案）

(1) 個人戦2試合

前半の2試合は、個人戦を行う。上位24チームまでで、後半の団体戦を行う。

(2) 団体戦2試合

後半の2試合は、4チーム6ブロックに分けて、トーナメント方式で団体戦を行う。ブロック分けは以下のように、前半2試合の成績によって分ける。各ブロックのトーナメントを勝ち抜いた6チームが、第100回の春大会C級に昇級できる。

1位	2位	3位	4位	5位	6位
12位	11位	10位	9位	8位	7位
13位	14位	15位	16位	17位	18位
24位	23位	22位	21位	20位	19位

1-5. カップ戦（試案）

第100回大会より、夏大会時にはカップ戦の開催を検討しています。詳細は未定ですので、ご意見・ご要望をお持ちの方は、ぜひ実行委員会までお願いいたします。現在、検討されている形式は以下のとおりです。

- ・新D級と同会場で試合を行う。
- ・16チームによるトーナメントで、全チーム4試合行う。
- ・同一団体より1チームのみ参加できる。
- ・夏大会、春大会を通じた年間成績の上位16チームに出場権利があり、棄権は妨げない。
- ・勝敗や不出場により、職域学生大会における級が変動することなく、独立した大会である。

